

様式第3

会 議 録

会議の名称	第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開催日時	令和3年2月15日(月) (午前・ <u>午後</u> ) 1時30分 開会 (午前・ <u>午後</u> ) 4時00分 閉会
開催場所	茨木市立男女共生センター ローズWAM 404・405号室
議長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出席者	<p>【評価委員】 山本博史氏(学識経験者)、百瀬真由美氏(NPO関係者)、高田和子氏(地域活動関係者)、板倉幸司氏(公募市民) ( 4人)</p> <p>【事務局】 山本市民協働推進課市民活動係長、松井市民協働推進課職員 ( 2人)</p>
開催形態	公開(傍聴者0人)
議題(案件)	(1) 事業報告について (2) 各団体による事業報告 (3) 質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第</li> <li>・令和2年度茨木市提案公募型公益活動支援事業 報告事業一覧及び報告書類 (個人情報を含むため省略)</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局 山本委員長	<p>開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（すべて公開）</p> <p style="text-align: center;">----- 事業報告開始 -----</p>
団体	<p><b>【自由テーマ型事業】</b> 事業名：子育て相談・楽しく遊ぼう！ 団体名：一般社団法人 子育てサポート・えん</p>
担当課	<p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b> ・「多文化に触れよう」のターゲットは ⇒茨木の方で興味のある方は誰でも受け入れようとしていた。 ・どんなことをしたのか。 ⇒コラボ団体の Fox X GLOBAL は、イオンモール茨木の近くで英語を中心とした学童保育を行なっている。多様性を受け入れる、幼いうちから「違いを認める」という気持ちを育てていくと言う想いが合致し、コラボに至った。 ・参加は予約制か？ ⇒子育て相談は予約不要、イベントは予約制とした。</p>
団体	<p><b>【自由テーマ型】</b> 事業名：ラジオ体操 団体名：茨木ラジオ体操会連盟</p>
担当課	<p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b> ・今年度はマイクと垂れ幕で 15 万円。昨年度も備品購入しているが、管理は？ ⇒拡声器は自宅で管理。北グラウンドに収納ボックスを設置させてもらっており、中に横断幕、ラジオ、体温計などを保管。 ・150 名が参加とのことなのでお金が必要かとは思いますが、20 万かかるものなのか。 ⇒普段活動しているグラウンドで、6:30 になったらラジオがかかるようにできないかと要望したが叶わなかったこともあり、このような形となっている。 ・今回購入した横断幕の効果は。参加者は増えたか。 ⇒朝が早いこともあり、なかなか厳しい。年間で 10 名ほど増えた。これからもアピールしていく。現在の平均年齢は 80 歳。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの社会人も多い。クリエイターなどに面白く宣伝してもらったり、ネットで拡散できれば新たな参加者を取り込めるチャンスにもなるかも。</li> <li>・子ども会と合同で夏休みに子どもを呼んだりはしていないのか。</li> </ul> <p>→学校によっては禁止のところもあり、なかなか難しい。コロナ以前は親子 2～30 組の参加あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの小学生以外は、なかなか子どもだけで来るのが難しいと思う。夏休みの間だけ、離れた小学校区に出張されたりなどはしないのか。</li> </ul> <p>→子どもは休みが 30 日あるうちの 3～4 日しか来ない。自分たちの活動場所まで来てもらえれば、自分たちの体操とは分けて指導員が子どもの前でお手本を見せながら体操してもらうことはできる。</p>
<p>団体</p>	<p><b>【自由テーマ型】</b>  事業名：作って遊ぼう科学工作  団体名：デジタルえほんサークル『ルピナス』</p>
<p>担当課</p>	<p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客方法は？</li> </ul> <p>⇒チラシを作って各所に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ研修の参加者が多く、興味を持っている人が多いことが分かる。</li> </ul> <p>⇒自分が作れる、作る楽しさを伝えられる、年齢関係なくできるという点に魅力を持って下さる方が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube や zoom での講座は考えていないのか。</li> </ul> <p>⇒まだ慣れず抵抗があるが、手元を映すことができる設備は用意している。今後できないか検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成の様子を撮影してアップしたり、作っている写真が載っているサイトを QR コードにしてチラシに掲載するのもよいのではと思う。</li> </ul>
<p>団体</p>	<p><b>【自由テーマ型】</b>  事業名：ノルディックウォーキング体験会  団体名：特定非営利活動法人ボランティアネットコル</p>
<p>担当課</p>	<p><b>【担当課 意見】</b></p>
<p>団体</p>	<p><b>【質疑応答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は各回定員 8 名とのことだが、年齢層はどれくらい？</li> </ul> <p>⇒ 1 回目は 50 代以上の女性 3 名、その子ども 2 名、計 5 名。2 回目は 50 代女性 2 名、70 代の方が 1 名、どちらも女性で 3 名。</p>

	<p>・消耗品にある OS-1 は、体調が悪くなった人のための準備か。配布しているのか。 ⇒脱水症状の対処用として救急セットに追加した。配布はしていない。</p> <p>・もともとつながりがある場所へのチラシ配架や DM 発送等による広報もよいが、公的な補助金を使った事業なので、普段とは異なる広告方法、普段接点のない方にアプローチしても良かったと思う。</p> <p><b>【自由テーマ型】</b> 事業名：オンラインで見れる「英語 DE 体育」発信事業 団体名：英会話めりーらんど</p> <p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <p>・広告にかかった金額について ⇒チラシ代として、デザイン料が 3 万円、5,610 部の印刷プラス 1000 戸へのポスティング代が 65,326 円。 今後どうするか？ ⇒来季についてはまだ考えられていないが、反響があれば続けたい</p> <p>・チラシ個配の費用対効果が微妙。SNS 広告等を利用しては？ ⇒自分が SNS を使っているときに出る広告が鬱陶しいと、SNS 広告については団体内から反対意見も多い。どうしたら良いかと悩むところ。</p> <p>・広報についてはぜひ試行錯誤していただきたい。 ・年度末が近づいている。年度末に完了させると同時に、振り返りをしながら効果を検証してほしい。</p>
担当課	<p><b>【自由テーマ型】</b> 事業名：市民参加型ダンス公演「みんなでダンス in Ibaraki」（2021 年実施） の実現に向けた市民参加型ワークショップ事業 団体名：「みんなでダンス in Ibaraki」実行委員会</p> <p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <p>・大学内で行ったワークショップは障害者が入らなかったのか？ ⇒火曜の 15 時という日程と、立地が悪く、電車やバスを乗り継ぐ必要があったため参加者が少なかったと考えられる。</p> <p>・オンラインでの開催はどうだったか ⇒「移動が必要ない」など、対面よりオンラインで行ってよいと思った点があった一方、画面を通すと対面よりも伝わりづらいと思うこともあった。</p> <p>・オンラインならではの面白さもある事業だと思うので、チラシに独創性を入れる</p>
	団体

<p>団体</p>	<p>とよりよくなると思う。</p> <p><b>【自由テーマ型】</b>  事業名：茨木の武将・中川清秀に学ぶ「逆境に立ち向かう力」  ～歴史小説家・木下昌輝の講演と講談師・玉田玉秀斎による新作講談～  団体名：カクカタル実行委員会</p>
<p>担当課</p>	<p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b>  ・4万円が動画メモリの購入費となっているが、どんなものを購入したのか。  ⇒2時間分動画を収録できるメモリを、トラブルを想定して2つ購入している。  ・動画の視聴回数  ⇒前編と後編合わせて200回ほど。講談師の認知度が低いのもあると思う。発信はしているが力不足を感じている。  ・これから補助金なしでできそうか。  ⇒今回、機材を揃えられたため、続けられそうではある。できる限り収支の差引をマイナスではなく0で行えるようにしたい。参加者を増やして収入を増やせるようにしたい。</p>
<p>団体</p>	<p><b>【文化芸術振興事業】</b>  事業名：IBARAKI MUSIC VILLAGE  団体名：茨木コロナバスターズ</p>
<p>担当課</p>	<p><b>【担当課 意見】</b></p> <p><b>【質疑応答】</b>  ・今回は雨のため中止となったが、室内で行うことは考えていないのか  ⇒室内だと限られた空間となる。通りすがりの客を掴めないため、屋外で行いたい。  ・開催に向けて準備したものはどうするのか。  ⇒チラシはデザインを依頼したので、次回開催時に継承したいと考えている。</p>
<p>団体</p>	<p><b>【文化芸術振興事業】</b>  事業名：高齢者施設コンサート～癒しの調べ～  団体名：プロミュージシャン コロナ支援プロジェクト</p>
<p>担当課</p>	<p><b>【担当課 意見】</b></p>

<p>山本委員長</p>	<p><b>【質疑応答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍だったが、福祉施設に入ることができたのか。</li> </ul> <p>⇒元々縁があった施設を中心に開催した。開催時期が夏場であったこともあると思う。庭から入り、庭から出る等感染対策にはかなり気を遣った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費の内訳は。</li> </ul> <p>⇒2名にそれぞれ3回分の演奏の謝礼として6万円、4万円支払った。演奏料としては4万円、1名は音声機材の準備をしてもらったため2万円追加して支払っている。今後もコロナで活躍場所がなくなったミュージシャンへの支援を続けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の補助金でミュージシャンを支援できてよかった、今後もコロナ禍で仕事がなくなったミュージシャンを支援していきたい、とのことだが、この補助金は、仕事がなくなった人を支えるという趣旨のものではないということに留意いただき、ぜひ今後も公益活動を続けていただければと思う。</li> <li>・場所について、是非いろんな層に向けて続けていただきたい。</li> </ul> <p>⇒ホールや福祉施設に限らず、寺や病院など、今までの開催場所以外での開催も検討したい。</p> <p>他に意見はないか。</p> <p>以上で、第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>
--------------	---